

# 令和4年度 第2回 貸出文庫新着案内

予約受付開始：令和5年3月15日（水）午前9時から

書名	著者	出版者（出版年）	ページ数 / 1ページの行数×文字数
アイアム マイヒーロー！	クジライ 鯨井あめ	講談社（2021. 8）	260p / 20行×44文字程度
		自分に何の期待もせず無気力に過ごす大学生、敷石和也。ある日駅のホームで、女性が線路に転落するのを目撃。右往左往しているうちに意識が遠のき一見見知らぬ子どもの姿となって目覚める。目の前には、小学生時代の自分が…！不可解なタイムスリップの謎を追いながら、小学生時代の自分を客観的に見つめる和也。はたして、自分の身に起こった「奇跡」とどう向き合っていくのか。	
おいしいごはんが 食べられますように	タカセジユンコ 高瀬隼子	講談社（2022. 3）	152p / 15行×37文字程度
		職場でそこそこうまくやっている二谷と、皆が守りたくなる存在で料理上手な芦川と、仕事ができがんばり屋の押尾。ままならない人間関係を、食べものを通して描く傑作。	
オーラの発表会	フタタキ 綿矢りさ	集英社（2021. 8）	234p / 18行×43文字程度
		海松子、大学1年生。他人に興味を抱いたり、気持ちを推しはかかったりするのが苦手。趣味は凧揚げ。友達はひとりだけ。なのに、同い年男子と、社会人から、気づけばアプローチを受けていて…。他人の気持ちを読めない女子の、不器用で愛おしい恋愛未満小説。	
コオソウケンカネナ 凍る草原に鐘は鳴る	アマギミコト 天城光琴	文藝春秋（2022. 7）	333p / 18行×42文字程度
		草原に額縁を立て、その中で演手たちが鮮やかな物語を繰り広げる一。遊牧の民アゴールは、その伝統を「生き絵」と呼んで愛していた。物語を作り、演出を手掛ける「生き絵師」のマーラは、若くして部族長たちの前で生き絵を披露する役目に大抜擢される。だが、その矢先に突然の悲劇が。“動くもの”が、全ての人々に見えなくなってしまったのだ。そんな世界で、もはやマーラの「生き絵」は無力なのか。そして、遊牧が困難になったアゴールの民の運命は一。第29回松本清張賞受賞作。	
スクテ 掬えば手には	セオ 瀬尾まいこ	講談社（2022. 7）	244p / 18行×41文字程度
		大学生の梨木匠は平凡なことがずっと悩みだったが、中学3年のときに、エスパーのように人の心を読めるという特殊な能力に気づいた。ところが、バイト先で出会った常盤さんは、匠に心を開いてくれない。常盤さんはつらい秘密を抱えていたのだった。だれもが涙せずにはいられない、切なく温かい物語。	
ソラ 宙ごはん	マチダ 町田そのこ	小学館（2022. 6）	365p / 20行×43文字程度
		大丈夫。わたしを頼って。きっと、この物語はあなたの人生を支えてくれる。2021年本屋大賞第1位『52ヘルツのクジラたち』『星を掬う』の先にたどり着いた救いと再生の物語。	
月の立つ林で	アオヤマミチコ 青山美智子	ポプラ社（2022. 11）	262p / 17行×40文字程度
		長年勤めた病院を辞めた元看護師、売れないながらも夢を諦めきれない芸人、娘や妻との関係の変化に寂しさを抱える二輪自動車整備士、親から離れて早く自立したいと願う女子高生、仕事が順調になるにつれ家族とのバランスに悩むアクセサリー作家。つまづいてばかりの日常の中、それぞれが耳にしたのはタケトリ・オキナという男性のポッドキャスト『ツキない話』だった。月に関する語りにも心を寄せながら、彼ら自身も彼らの思いも満ち欠けを繰り返し、新しくてかけがえない毎日を紡いでいく。最後に仕掛けられた驚きの事実と読後に気づく見えない繋がりが胸を打つ心震える傑作小説。本屋大賞2年連続第2位。	

※上記内容説明は「トーハンマーク」から引用

- ・1タイトルにつき20冊所蔵しています。
- ・申込先：埼玉県立熊谷図書館 図書館協力担当

TEL：048-523-6291（代表）  
FAX：048-525-2667（図書館協力担当直通）